

Biz-Collections サポートガイドライン

【2017年10月02日版】

株式会社オープンストリーム

目次

● はじめに	4
1. Biz-Collections 製品ラインアップ.....	5
1-1. Biz/Browser	5
1-2. Biz/Designer	6
1-3. Biz/Generator.....	6
1-4. PrintStream.....	7
2. 製品サポートについて	8
2-1. 製品共通のサポート方針	8
2-2. バージョン番号の表記	8
2-3. 互換性.....	10
2-3-1. Biz/Browser の最新バージョンについて	10
2-3-2. その他製品について	10
2-4. 言語サポートについて	11
3. Biz/Browser 製品サポート.....	12
3-1. Biz/Browser DT / V / XE / Ver 4 / Ver 3	12
3-1-1. サポート環境.....	12
3-1-2. バージョンアップについて	14
3-1-3. シンクライアント・仮想化環境での利用.....	15
3-1-4. 対応言語.....	15
3-2. Biz/Browser Mobile	17
3-2-1. サポート環境.....	17
3-2-2. バージョンアップについて	18
3-2-3. 端末固有の動作についてのサポート.....	18
3-2-4. 旧バージョンの Biz/Browser Mobile.....	19
3-3. Biz/Browser SmartDevice / AI.....	20
3-3-1. サポート環境.....	20
3-3-2. バージョンアップについて	21
3-3-3. 端末固有の動作についてのサポート.....	22
4. Biz/Designer 製品サポート.....	22
4-1. Biz/Designer DT / V / XE / Mobile.....	22

4-1-1.	サポート環境.....	22
4-1-2.	バージョンアップについて	23
4-1-3.	旧バージョンの Biz/Designer	24
4-1-4.	デバッグ用シュミレーターについて.....	24
5.	Biz/Generator 製品サポート	25
5-1.	Biz/Generator.....	25
5-1-1.	サポート環境.....	25
5-1-2.	バージョンアップについて	27
6.	PrintStream 製品サポート.....	28
6-1.	PrintStream Core	28
6-1-1.	サポート環境.....	28
6-1-2.	バージョンアップについて	28
6-1-3.	仮想化環境での利用	28
6-2.	PrintStream FormEditor	29
6-2-1.	サポート OS.....	29
6-2-2.	バージョンアップについて	29
6-3.	PrintStream for InternetExplorer	30
6-3-1.	サポート環境.....	30
6-3-2.	バージョンアップについて	30

● はじめに

本資料は、Biz-Collections 製品の製品サポート範囲を記載したものです。

Biz-Collections 製品は、インストールする環境（OS）によってご利用頂く種類やバージョンが異なります。本資料をご確認の上、サポート対象となるバージョンをご利用頂きますようお願い致します。

サポート対象外の環境でご利用になられた際に発生した問題については、弊社では一切の責任を負いかねます。

記載されている動作環境やサポート範囲は、Biz-Collections 製品をインストールする環境（OS）のバージョンアップや仕様変更等に合わせて変更される場合があります。予めご了承頂きますようお願い申し上げます。

1. Biz-Collections 製品ラインアップ

1-1. Biz/Browser

システム利用者の端末にインストールして使用します。CRS で開発したシステムの実行環境です。システムを利用する端末（動作環境）によってインストールする製品が異なります。

◆ 製品一覧

製品	動作環境
Biz/Browser DT (最新バージョン)	Windows PC
Biz/Browser V	
Biz/Browser XE	
Biz/Browser Ver 4	
Biz/Browser Ver 3	
Biz/Browser Mobile	Windows CE Windows Mobile
Biz/Browser SmartDevice	iOS Android Windows タブレット
Biz/Browser AI	iOS Android

1 - 2 . Biz/Designer

Biz/Browser を利用したシステムを開発するための開発ツールです。
開発対象となる Biz/Browser によってインストールする製品が異なります。

◆ 製品一覧

製品	動作環境	開発対象
Biz/Designer DT (最新バージョン)	Windows PC	Biz/Browser DT 向け システム開発ツールです。
Biz/Designer V	Windows PC	Biz/Browser V 向け システム開発ツールです。
Biz/Designer XE	Windows PC	Biz/Browser XE 向け システム開発ツールです。
Biz/Designer Ver 4	Windows PC	Biz/Browser Ver 4 向け システム開発ツールです。
Biz/Designer Ver 3	Windows PC	Biz/Browser Ver 3 向け システム開発ツールです。
Biz/Designer Mobile Biz/Browser Mobile for Windows Biz/Browser AI for Windows	Windows PC	Biz/Browser Mobile、 Biz/Browser SmartDevice、 Biz/Browser AI 向けシス テム開発ツールです。

1 - 3 . Biz/Generator

GUI によるウィザードで画面設計、通信インターフェース設計をおこない、CRS
およびサーバ API を生成する Biz/Browser 開発支援ツールです。

◆ 製品一覧

製品	動作環境	開発対象
Biz/Generator 設計ツール	Windows PC	Biz/Browser SmartDevice

1-4. PrintStream

Web システムで印刷機能を実現する帳票ツールです。

※ 「PrintStream」は製品全体の名称です。

- PrintStream Core
サーバで動作する帳票生成エンジンです。
- PrintStream FormEditor
PrintStream Core で帳票を生成する際に必要となる帳票レイアウトを設計・開発するためのツールです。
- PrintStream for InternetExplorer
PrintStream Core で生成された帳票を Internet Explorer 上でプレビュー、印刷するための ActiveX モジュールです。

◆ 製品一覧

製品	動作環境	開発対象
PrintStream Core V4 (最新バージョン)	Windows Server Linux	-
PrintStream Core SE	Windows Server Linux	-
PrintStream FormEditor Ver 4.0	Windows PC	PrintStream Core V4 向け 帳票設計・開発ツール です。
PrintStream FormEditor Ver 3.1	Windows PC	PrintStream Core SE 向け 帳票設計・開発ツール です。
PrintStream for InternetExplorer	Windows PC (Internet Explorer)	-

2. 製品サポートについて

2-1. 製品共通のサポート方針

Biz-Collections 製品は、過去にリリースされたバージョンについてサポートを終了することは原則としてありません。

過去のバージョンの製品を使用してシステムを構築されたお客様は、そのシステムが運用を終了するまでサポートします。

OS の提供元によるサポートが終了した OS でも、Biz-Collections 製品のサポート対象であれば、その OS 上での利用についてサポートを継続します。

- ※ OS へのアップデートが提供されないことに起因する問題については、弊社ではサポートできない場合があります。
- ※ Biz-Collections 製品はシステム開発のための製品です。必要となるハードウェアの性能は、各製品の上で動作するシステムに依存するため、CPU やメモリ等の必要スペックは提示していません。
- ※ Biz-Collections 製品自体の動作については弊社で動作確認した上で提供しますが、Biz-Collections 製品を使用して作成されたシステムについては、弊社では動作保証はできません。システムの動作保証は、システム開発者及び利用者が行ってください。

2-2. バージョン番号の表記

Biz-Collections 製品は、バージョン番号を 4 桁または 3 桁の数字で表しています。バージョンアップによる変更の内容により、どの桁のバージョン番号が変更されるかが決まります。

例) Biz/Browser V バージョン 5.1.0.6

1 桁目

メジャーバージョンアップ時に変更されます。

大幅な機能変更や追加、廃止があります。

2 桁目

比較的大きな機能変更や追加が行われた際に変更されます。

3 桁目

小さな機能変更が行われた際に変更されます。

4 桁目

機能変更を伴わない障害修正が行われた際に変更されます。

例) Biz/Browser SmartDevice バージョン 1.1.3

1 桁目

メジャーバージョンアップ時に変更されます。

大幅な機能変更や追加が行われます。

2 桁目

機能変更や追加が行われた際に変更されます。

3 桁目

機能変更を伴わない障害修正が行われた際に変更されます。

2-3. 互換性

2-3-1. Biz/Browser の最新バージョンについて

対象製品： Biz/Browser DT、Biz/Designer DT

Biz/Browser DT は、以前のバージョンと同様に独自のスクリプト言語である CRS を採用しており、スクリプト言語仕様は旧製品との互換性があります。Biz/Browser DT に搭載されているクラス群については、より高機能なシステム開発を実現するため、旧製品から大きな改善・最適化がされています。旧バージョンで開発されたシステムを Biz/Browser DT 上でそのまま動作させる場合には、Biz/Browser DT に内包されている“Biz/Browser V エミュレーター”(後述)をご利用頂けます。旧バージョンで開発されたシステムを、Biz/Browser DT の新機能を使って拡張したい場合等につきましては、旧バージョンで開発されたシステムを Biz/Browser DT のクラスを使用するよう最適化して頂く必要があります。

2-3-2. その他製品について

対象製品： Biz/Browser V / XE / Ver 4 / Ver 3
Biz/Designer V / XE / Ver 4 / Ver 3
Biz/Browser Mobile
Biz/Browser SmartDevice
Biz/Browser AI
Biz/Designer Mobile
PrintStream

以前のバージョンの製品を使用して作成されたシステムは原則として新しいバージョンでもそのまま動作します。(後方互換)
ただし、新しいバージョンの製品は障害修正や仕様変更などにより必ず何らかの動作が変更されており、その変更が Biz-Collections 製品を使用して作成されたシステムに影響を与える場合があります。
例えば、微細な障害修正であっても、その障害があることを前提に動作していたプログラムは、その障害が修正されることにより動作が変わってしまいます。

Biz-Collections 製品のバージョンアップを適用する際は、作成したシステムの動作確認を必ず実施してください。

2-4. 言語サポートについて

Biz-Collections 製品には、日本語環境以外で利用できる製品がありますが、どの製品においても日本語以外の言語に対応したマニュアルやドキュメントは用意していません。

また、各言語固有の問題については、弊社では対応できない場合があります。

3. Biz/Browser 製品サポート

3-1. Biz/Browser DT / V / XE / Ver 4 / Ver 3

3-1-1. サポート環境

3-1-1-1. サポート OS

○ サポート対象 × サポート対象外

△ サポート可能な場合があります。お問い合わせください。

	DT	V	XE	Ver4	Ver3
Windows 10	○	○	△	×	×
Windows 8	○	○	○	×	×
Windows 7	○	○	○	×	×
Windows Vista	×	○	○	○	○
Windows XP	×	○	○	○	○
Windows 2000	×	○	○	○	○
Windows NT 4.0	×	○	○	○	○
Windows ME	×	×	○	○	○
Windows 98 SE	×	×	○	○	○

➤ Windows 10 のアップグレードモデル (CB、CBB、LTSB) について

Biz/Browser では、いずれのアップグレードモデルにおいてもサポートを致します。

ただし、Windows 10 の大型アップデートにおける Biz/Browser の検証は、アップデートの正式リリース後実施するため、アップデート適用後のサポートは製品検証の完了(※)からとなります。

※ 検証後、アップデート影響があった場合は対応バージョンをリリースし、対応バージョンからのサポートを開始します。

大型アップデートによる Biz/Browser への影響の有無を確認の上でアップデートを適用される場合、アップグレードモデルは CBB、LTSB の適用を推奨します。

➤ Biz/Browser V エミュレーター機能について

Biz/Browser DT には Biz/Browser V のエミュレーター機能が搭載されています。これにより以前のバージョンで開発したシステムを動作させる事が可能です。

Biz/Browser V エミュレーターにおける動作保証は、通常の Biz/Browser V と同様です。

3-1-1-2. WEB ブラウザと Biz/Browser のバージョンの関係

➤ Biz/Browser DT

Biz/Browser DT では、一部 WEB ブラウザの機能(Chromium バージョン : 53) を内包しています。WEB ブラウザの機能のバージョンアップ(機能アップ、セキュリティパッチ等)は Biz/Browser DT のバージョンアップと共に行われます。

現時点では、WEB ブラウザ機能のみをバージョンアップしたり、WEB ブラウザのバージョンを固定し Biz/Browser のみをバージョンアップすることはできません。

また、Biz/Browser DT では、Biz/Browser V 以前のバージョンで可能であった IE 内部起動はできません。

➤ Biz/Browser V / XE / Ver 4 / Ver 3

Biz/Browser V 以前のバージョンでは通信機能として Internet Explorer と共通のモジュールを使用しており、Internet Explorer のバージョンアップの影響を受ける可能性があります。サポート対象となる Internet Explorer と Biz/Browser の詳細バージョンは以下の通りです。

Internet Explorer バージョン	Biz/Browser			
	V	XE	4.0	3.1
11	5.0.3.0	4.3.2.0	-	-
10	5.0.2.0	4.3.2.0	-	-
9	5.0.0.0	4.3.0.4	4.0.8.1	3.1.3.1
8	5.0.0.0	4.2.1.1	4.0.8.1	3.1.3.1
7	5.0.0.0	4.1.3.4	4.0.7.4	3.1.2.4
6	5.0.0.0	4.1.0.3	4.0.0.2	3.1.0.0

※ 記載されているバージョン以降が対応となります。

原則として上表に対応したバージョンのご利用を推奨しますが、旧バージョンの Biz/Browser をご利用中の環境に新しい Internet Explorer を導入した場合でもサポートは行います。

ただし、Internet Explorer のバージョンアップによる仕様変更等に起因する問題についてサポートが困難な場合は、Biz/Browser のバージョンアップをお願いする場合があります。

3-1-2. バージョンアップについて

3-1-2-1. 新しいバージョンの OS がリリースされた場合

Biz/Browser の現行バージョンおよび 1 世代前のバージョンは、Windows の新バージョンがリリースされた際には動作検証を行い、サポート対象とします。

2 世代以上前のバージョンの Biz/Browser は、Windows の新バージョンには対応しません。

※ Biz/Browser DT、V は、Windows 10 以降の新しい Windows もサポートする予定です。

Biz/Browser XE は Windows 10 以降の新しい Windows には対応しません。

Windows 10 については 2017 年秋に提供される大型アップデート（仮：Fall Creators Update）までのサポートとなります。

Biz/Browser Ver.4、Ver.3 は、Windows 7 がリリースされた時点で 2 世代以上前となっているため、Windows 7 以降の Windows には対応していません。

3-1-2-2. メジャーバージョンアップ時の対応 OS

メジャーバージョンアップとしてリリースした時点で最新の Windows がサポート対象となります。

1 世代前の Windows については、リリースした時点での Windows の利用状況等によりサポート対象とするかを決定します。

3-1-2-3. マイナーバージョンアップ

最新バージョンの Biz/Browser では新機能の追加や機能拡張、障害修正を行い、マイナーバージョンアップとして提供します。

1 世代前の Biz/Browser では、新機能の追加や機能拡張は行われません。障害修正のみを行い、マイナーバージョンアップとして提供します。

2世代以上前の Biz/Browser は、原則としてマイナーバージョンアップは行いません。

3-1-3. シンククライアント・仮想化環境での利用

シンククライアント環境、仮想化環境の製品がクライアントの Windows アプリケーションの動作を保証している場合は、その上で動作する Biz/Browser はサポート対象とします。

ただし、シンククライアント環境、仮想化環境の製品に起因する問題については、弊社では対応できない場合があります。

3-1-4. 対応言語

Biz/Browser は、日本語 OS 以外で動作させる事が可能です。

現在動作保証となる OS は日本語 OS のみです。

日本語 OS 以外をご利用になる場合は、サポートまでお問合せください。

3-1-4-1. Biz/Browser DT

詳細は、サポートまでお問合せください。

3-1-4-2. Biz/Browser V / XE

Biz/Browser V や Biz/Browser XE は、動作環境(OS)のロケールを判断しロケールに合わせた言語表示や処理を行います。

➤ ロケールの自動適用項目

日本語、英語、中国語（簡体中文、繁体中文）、韓国語は Biz/Browser 内に組み込まれており、以下の項目は動作環境(OS)のロケールを判断して自動的に表示や処理内容が切り替わります。

- Biz/Browser のメニュー表示
- Biz/Browser 上で表示する日時、通貨、フォントの表示
- CRS スクリプトで記述される文字変換関数
- リソースファイル機能
- Biz/Browser が内蔵している例外メッセージ

※ 日本語、英語、中国語（簡体中文、繁体中文）、韓国語以外が設定されている場合は以下の言語として表示されます。

Biz/Browser XE 以前・・・日本語、Biz/Browser V 以降・・・英語

➤ CRS プログラム上での言語表示

Biz/ Browser V では、CRS ファイルの文字エンコーディングを BOM 付き UTF-8 に指定する事で、直接 CRS プログラム上に中国語、韓国語を記載する事が可能です。

ただし、CRS プログラム実行時の内部的な文字エンコーディングは動作環境のロケールにあわせた文字エンコーディングに変換されます。

※ 例：日本語ロケール「Shift-JIS」、簡体中国語ロケール「GB2312」

よって、設定ロケールで表示できない文字列は、正しく表示されません。
また、上記の理由により日本語、中国語、韓国語の混在する画面は作成できません。

3-2. Biz/Browser Mobile

3-2-1. サポート環境

3-2-1-1. サポート OS

以下、サポート対象 OS を搭載した端末はメーカーや種類に関係なくサポートします。

○ サポート対象 ×サポート対象外

△ サポート可能な場合があります。お問い合わせください。

OS		エディション	対応
Windows CE 5.0		Core	×
		Professional	○
Windows Embedded CE 6.0		Core	△
		Core Plus	△
		CID(C6G)	○
		Professional	○
Windows Embedded Compact 7		C7NR	×
		C7E	×
		C7G	○
		C7T	×
		C7P	○
Windows Mobile	5.0	Pocket PC	○
		Pocket PC Phone Edition	○
		SmartPhone	×
	6.0	Classic	○
		Professional	○
		Standard	×
	6.1	Classic	○
		Professional	○

		Standard	×
	6.5.x	Professional	○
		Standard	×
		Embedded Handheld	○

※ Windows CE系OSは端末メーカーがOSをカスタマイズすることが可能なため、「○」となっても端末によって動作が不完全になる場合があります。

3-2-2. バージョンアップについて

Biz/Browser Mobileはハンディターミナルに搭載される下記OSごとに製品を用意しています。

- ・ Windows CE 5.0
Biz/Browser Mobile for Windows CE 5.0
- ・ Windows Embedded CE 6.0
Biz/Browser Mobile for Windows Embedded CE 6.0
- ・ Windows Embedded Compact 7
Biz/Browser Mobile for Windows Embedded Compact 7
- ・ Windows Mobile
Biz/Browser Mobile for Windows Mobile

よって Biz/Browser Mobile のバージョンアップは、製品ごと（対応 OS ごと）に行われます。（一部の製品のみバージョンアップする場合があります）

3-2-3. 端末固有の動作についてのサポート

端末に限定したトラブル等が発生した場合は、可能な限り状況を再現して調査を行います。端末固有の動作に起因する問題については、弊社では対応できない場合があります。

3-2-4. 旧バージョンの Biz/Browser Mobile

Ver 4 より前のバージョンのサポートも継続していますが、Ver 4 を中心にサポートを行っているため、旧バージョンを新しいシステム開発で使用することは推奨しません。

3-3. Biz/Browser SmartDevice / AI

3-3-1. サポート環境

3-3-1-1. サポート OS

以下、サポート対象 OS を搭載した端末はメーカーや種類に関係なくサポートします。

○ サポート対象 × サポート対象外 (○) サポート予定

Android OS		Biz/Browser SmartDevice	Biz/Browser AI	
			1.0.x	2.2.0 以降
8.0		○	×	×
7.1		○	×	×
7.0		○	×	×
6.0		○	×	×
5.1		○	×	×
5.0		○	×	×
4.4		○	○	○
4.3		○	○	○
4.2		○	○	○
4.1		×	○	×
4.0		×	○	×
3.x	3.2	×	○	×
	3.0~3.1	×	×	×
2.3.x	2.3.3	×	○	×
	2.3.0~ 2.3.2	×	×	×
2.2 以前		×	×	×

iOS	Biz/Browser SmartDevice	Biz/Browser AI	
		2.1.0	2.2.0以降
10	○	×	×
9	○	×	×
8	○	×	○
7	○	○ (※iPadのみ)	○
6以前	×	×	×

Windows	Biz/Browser SmartDevice
10	(○)
9	○
7	○

3-3-2. バージョンアップについて

3-3-2-1. 新しいバージョンのOSがリリースされた場合

- Biz/Browser SmartDevice
新バージョンのOSがリリースされた際には動作検証を行い、サポート対象とします。
- Biz/Browser AI
新バージョンのOSに対応する動作検証及び、サポートは行いません。

3-3-2-2. メジャーバージョンアップ時の対応 OS

メジャーバージョンアップとしてリリースした時点で最新の OS がサポート対象となります。以前の世代の OS については、OS の利用状況等によりサポート対象とするかを決定します。

3-3-3. 端末固有の動作についてのサポート

端末固有の動作に起因する問題については、弊社では対応できない場合があります。

4. Biz/Designer 製品サポート

4-1. Biz/Designer DT / V / XE / Mobile

4-1-1. サポート環境

4-1-1-1. サポート OS

OS の各バージョンに対応する Biz/Designer の詳細バージョンは以下の通りです。

OS	Biz/Designer			
	DT	V	XE	Mobile
Windows 10	1.0.0	5.0.3.0	4.3.0.0	4.5.3.0
Windows 8	1.0.0	5.0.2.0	4.3.0.0	4.5.0.0
Windows 7	1.0.0	5.0.0.0	4.3.0.0	4.1.7.0
Windows Vista	-	5.0.0.0	4.1.4.1	4.1.4.2
Windows XP	-	5.0.0.0	4.1.0.3	4.1.4.2
Windows 2000	-	5.0.0.0	4.1.0.3	4.1.4.2

※ 記載されているバージョン以降が対応となります。

4-1-1-2. WEBブラウザと Biz/Browser のバージョンの関係

➤ Biz/Designer DT

Biz/Designer DT は、動作環境（Windows OS）にインストールされている Internet Explorer やその他 WEBブラウザのバージョンや動作の影響を受けません。

➤ Biz/Designer XE / V

Biz/Designer では通信機能として Internet Explorer と共通のモジュールを使用しており、Internet Explorer のバージョンアップの影響を受ける可能性があります。

サポート対象となる Internet Explorer と Biz/Designer の詳細バージョンは以下の通りです。

IE バージョン	Biz/Designer	
	V	XE
Internet Explorer 11	5.0.3.0	4.3.0.0
Internet Explorer 10	5.0.2.0	4.3.0.0
Internet Explorer 9	5.0.0.0	4.3.0.0
Internet Explorer 8	5.0.0.0	4.2.0.2
Internet Explorer 7	5.0.0.0	4.1.4.1
Internet Explorer 6	5.0.0.0	4.1.0.3

※ 記載されているバージョン以降が対応となります。

4-1-2. バージョンアップについて

4-1-2-1. 新しいバージョンの OS がリリースされた場合

Biz/Designer は、Windows の新バージョンがリリースされた際には動作検証を行い、サポート対象とします。

4-1-2-2. Biz/Designer のメジャーバージョンアップ時の対応 OS

➤ Biz/Designer V の次世代バージョンのリリース時

対応する Biz/Browser がサポートする Windows がそのままサポート対象となります。

➤ Biz/Designer Mobile の次世代バージョンのリリース時

リリースした時点で最新の Windows がサポート対象となります。1 世代前の Windows については利用状況等によりサポート対象とするかを決定します。

4-1-3. 旧バージョンの Biz/Designer

Biz/Designer XE 以前のバージョンのサポートも継続していますが、新しいシステム開発で使用することは推奨しません。旧バージョンの Biz/Browser で開発されたシステムの保守のみにご利用ください。

4-1-4. デバッグ用シュミレーターについて

4-1-4-1. Biz/Browser Mobile for Windows

Biz/Designer Mobile と連携して Windows PC 上でデバッグを行うためのシュミレーターです。

本製品のサポートは、Biz/Designer Mobile のサポートと同じ扱いとなります。

4-1-4-2. Biz/Browser AI for Windows

Biz/Designer Mobile と連携して Windows PC 上でデバッグを行うためのシュミレーターです。Biz/Browser AI ver 1.0 系の動作のシミュレートが対象となります。

Biz/Browser AI ver 2.1.0 以降の動作は、実際の端末を利用してデバックを行う、リモートデバックをご利用頂きます。

本製品は、バージョンアップを終了いたしました。

サポートも、Windows 8 までとなります。新バージョンの OS での動作検証及び、サポートは行いません。

5. Biz/Generator 製品サポート

5-1. Biz/Generator

5-1-1. サポート環境

5-1-1-1. プログラム言語

サポートと対象となるプログラム言語は、Biz/Browser で動作する CRS の他、C# と JAVA の 2 言語です。詳細バージョンは以下の通りです。

○ サポート対象 ×サポート対象外

△ サポート可能な場合があります。お問い合わせください。

言語	バージョン	対応
C# (.Net Framework)	4.6	○
	4.5	○
	4.0	○
	3.5	×
	3.0	×
	2.0	×
Java	1.8	○
	1.7	○
	1.6	×

5-1-1-2. サーバ環境

サポートと対象となる OS と WEB サーバのバージョンは以下の通りです。

OS	WEB サーバ
Windows	IIS 7.5 以上
Linux	Tomcat 8
	Tomcat 7

5-1-1-3. データベース

利用可能なデータベースのバージョンと、プログラム言語の組み合わせは以下の通りです。

○ サポート対象 ×サポート対象外

△ サポート可能な場合があります。お問い合わせください。

データベース名	データベースバージョン	対応言語	
		C#	JAVA
Oracle	12c	○	○
	11g	○	○
SQL Server	2016	○	○
	2014	○	○
	2012	△	△
	2010	○	○
MySQL	5.7	○	○
	5.6	○	○
Postgres SQL	9.6	○	○
	9.5	△	△
	9.4	△	△
	9.3	○	○

5-1-1-4. 設計ツール

設計ツールのサポート OS は以下の通りです。

.Net Framework は、4.0以上をご利用ください。

○ サポート対象 ×サポート対象外

△ サポート可能な場合があります。お問い合わせください。

OS	対応
Windows 10	○
Windows 8.x	○
Windows 7	○

5-1-2. バージョンアップについて

詳細はサポートまでお問い合わせください。

6. PrintStream 製品サポート

6-1. PrintStream Core

6-1-1. サポート環境

6-1-1-1. 動作環境

java が動作する環境で利用できます。

サポートする java のバージョンは以下の通りです。

- PrintStream Core V4 の場合、1.7
- PrintStream Core SE の場合、1.3~1.7

.NET プログラムからの利用では、以下の .NET Framework が必要です。

- PrintStream Core V4 の場合、.NET Framework 4.0 以上
 - PrintStream Core SE の場合、.NET Framework 2.0 以上
- ※ .NET プログラムから利用する場合でも、java が必要です。

6-1-1-2. サーバ環境

java が動作するサーバであれば、Windows、Linux など任意の OS、Apache Tomcat や IIS など任意のアプリケーションサーバで利用できます。

6-1-2. バージョンアップについて

メジャーバージョンアップ時は、java 提供元のサポートが終了しているバージョンの java はサポート対象としない場合があります。

6-1-3. 仮想化環境での利用

仮想化環境でも通常と同様に java が動作する環境であればサポート対象となります。

6-2. PrintStream FormEditor

6-2-1. サポート OS

○ サポート対象 × サポート対象外

	3.1.X.X	4.0.0.0
Windows 10	○	○
Windows 8	○	○
Windows 7	○	○
Windows Vista	○	○
Windows XP	○	○
Windows 2000	○	×

6-2-2. バージョンアップについて

6-2-2-1. 新しいバージョンの OS がリリースされた場合

PrintStream FormEditor は、Windows の新バージョンがリリースされた際には動作検証を行い、サポート対象とします。

6-2-2-2. メジャーバージョンアップ時の対応 OS

メジャーバージョンアップとしてリリースした時点で最新の Windows がサポート対象となります。

1世代前の Windows については、リリースした時点での Windows の利用状況等によりサポート対象とするかを決定します。

6-3. PrintStream for InternetExplorer

6-3-1. サポート環境

6-3-1-1. 動作環境

ActiveX の実行が許可された Internet Explorer で利用できます。

6-3-1-2. 対応プリンタ

PrintStream for InternetExplorerが動作している Windows に登録されたプリンタであれば、任意のプリンタに印刷できます。

プリンタ固有の動作に起因する問題については、弊社では対応できない場合があります。

6-3-2. バージョンアップについて

6-3-2-1. Internet Explorer のバージョンアップへの対応

PrintStream for InternetExplorer は ActiveX として動作するため、Internet Explorer がバージョンアップしてもそのまま利用できます。

Biz-Collections サポートガイドライン
【2017年10月02日版】

株式会社オープンストリーム
